

「ウイルス性気道感染症サーベイランスの強化と効率化に関する研究」について

○ 研究の意義・目的

新型コロナウイルス（以下新型コロナ）の流行により以前に比べて、感染症対策・原因究明のニーズが高まっています。現在、新型コロナについては感染症法上の「新型インフルエンザ等感染症」として単独の遺伝子検査系で検査を実施していますが、令和5年5月から5類定点把握対象疾患となることから、既存の感染症発生動向調査の検査体制へ早急に組込む必要があります。

当センターでは、気道感染症の原因ウイルスは多岐に渡るため、その検査ではリアルタイムPCRによる気道炎ウイルスパネルを構築することにより、複数ウイルスの同時検査を実施しています。

今回の研究では、現在の気道炎ウイルスパネル^{※1}へ新型コロナ項目を追加します。また、RSウイルスプライマープローブセット^{※2}の見直し及び気道炎ウイルスパネルの対象ウイルスの組み合わせを再構築することで、検査の一層の効率化及び検出感度の向上を実現します。

○ 研究対象者

感染症発生動向調査事業において2017年1月1日～2024年3月31日までに気道炎感染症の症例で採取された患者。

○ 利用する試料・情報

気道炎感染症の症例で採取された患者検体を使用し、検査用に作成した検体番号と症状のみを使用します。（別紙参照）

○ 研究方法

現在の気道炎ウイルスパネルへ新型コロナ検査系を組み込むため、新型コロナに適した検出条件の選定を行います。また、RSウイルス検出用プライマープローブセットの見直し及び気道炎ウイルスパネル対象ウイルスの組み合わせ等の再構築を行い、既存の試料を用いて検出感度等の評価を行います。

※1 13種類のウイルス等を同時に検出することが可能な検査系（エンテロウイルス、ライノウイルス、アデノウイルス、パラインフルエンザウイルス3種、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、季節性コロナウイルス4種及びマイコプラズマを同時検査可能）

※2 RSウイルスを特異的に検出するために使用するPCR試薬の構成要素（短いDNA配列と蛍光標識がついたDNA配列のセット）

○ 試料・情報の代表管理責任者

保健研究部 主任研究員 池田 周平

○ 研究期間 2023年5月8日～2024年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。研究で使用する個人情報は患者の症状と当方で作成した検体番号のみで処理し、個人が特定されるデータは扱わないため、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんので、ご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまで、電話、電子メール等によりお問い合わせください。

* 研究に試料・情報を提供しない場合は下記問い合わせ先へお申し出ください。試料・情報を提供しないことにより、今後の不利益が生ずることはありません。（別紙参照）

.....
(研究代表責任者)

〒734-0007 広島市南区皆実町一丁目6-29

TEL 082-255-7142 FAX 082-252-8642

E-mail hkchoken@pref.hiroshima.lg.jp

広島県立総合技術研究所保健環境センター 主任研究員 池田周平

別紙

- 1 試料・情報を利用する者の氏名又は名称
研究機関 広島県立総合技術研究所保健環境センター

所 属	職 名	氏 名
保健研究部	副部長	島津 幸枝
保健研究部	主任研究員	池田 周平

- 2 利用する情報の項目

項目	具体的な内容
検体番号	当方で作成した検体番号
症状	気道炎症状及び発熱の有無など

- 3 研究への利用を拒否する場合の手続き
「研究に試料・情報を提供しない場合の問い合わせ先」へ連絡してください。